

東京都商工会報

vol.
285
2009
1月号

題字は、山下光一 前名誉会長

発行所 **東京都商工会連合会**

〒190-0012 東京都立川市曙町 3-7-10 多摩中小企業振興センター内
TEL 042-525-6821 FAX 042-525-0899 <http://www.shokokai-tokyo.or.jp/>

発行人：桂 教夫
印刷所：(株)文伸

新年のご挨拶

東京都商工会連合会会長

桂 教夫



新年明けましておめでとうございます。
平成二十一年を迎え謹んで新春のお慶びを申し上げます。

我が国の経済は、原油や原材料の急騰、それに続く世界同時金融不安に端を発した株価下落と円高の進行などの影響で、景気は戦後最長と言われた拡大期も終わり、後退局面に入っています。

中小企業を取巻く状況は、社会構造の変化による地域産業の空洞化や、事業主の高齢化などによる商店街の衰退、地域間格差の拡大に加えて、金融不安も重なり、更に厳しさが増しています。

このような中、中小企業の皆様は企業の維持継続に懸命に取り組まれており、商工会には中小企業の支援機能強化や地域産業の活性化、街づくり支援などの大きな期待が寄せられています。

商工会連合会といたしましては、商工会等の更なる改革、経営指導員、パワーアップ研修、シナジースキーム事業などの充実を図ると共に、

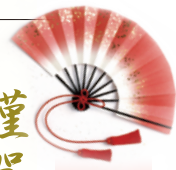
経営革新計画作成事業や中小企業応援ファンド事業、地域力連携拠点事業などの新たな事業に取り組んでいるところです。

「百年に一度の緊急事態」と言われる困難に直面している今こそ、我が国の首都東京の商工会が、多摩・島嶼地域が持っているポテンシャルを活かし、先頭に立って泥を被る覚悟で課題解決に取り組んでいくことが重要です。

それには、過去に数々の難局を乗り越えてきた先人に勝るとも劣らない知恵と力と志を商工会に結集し、連携して地域産業の振興に取り組んでいく気概と実行力が必要です。

私も商工会連合会は、多摩・島嶼地域の二十七商工会と連携し、役員員一丸となり、総力を挙げて事業運営に当たっていく所存でございます。

最後に、本年が皆様にとりまして、良い年であることを祈念して、私の年頭のご挨拶といたします。



謹賀新年

会長 桂 教夫

副会長 平畑 文興(昭島市)

副会長 神石 實(小平)

副会長 栗原 昭一(瑞穂町)

専務理事 長谷川 登

理事 深沢 精一(三鷹)

理事 矢野 守(国分寺市)

理事 井上 敏夫(日野市)

理事 平塚 久敏(清瀬)

理事 村越 政雄(小金井市)

理事 宮川 一三(西東京)

理事 栗山 昇(狛江市)

理事 原島 芳一(調布市)

理事 才神 芳美(東久留米市)

理事 山下 三郎(東村山市)

理事 鶴田 和男(あきる野)

理事 加藤 政治(東大和市)

理事 松田 昭男(武蔵村山市)

理事 浅沼 孝彦(八丈町)

理事 浅沼 孝彦(八丈町)

理事 番場 正夫(稲城市)

理事 向笠 幸雄(羽村市)

理事 小島 昌夫(都青連)

理事 廣瀬可世子(都女連)

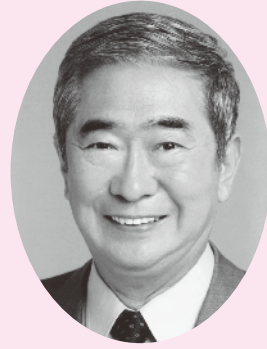
監事 原田 貞男(日の出町)

監事 浅沼 基(三宅村)

監事 松江 仁(神津島村)

平成二十一年

年頭所感



東京都知事

石原慎太郎

新年明けましておめでとうございます。

新しい年が、皆様にとって健やかで希望に満ちた一年でありますよう、心からお祈り申し上げます。

今、世界は未曾有の金融・経済危機に直面しております。米国発の金融市場の混乱は、百年に一度という金融危機に発展し、わが国経済にも大きな影響を及ぼしております。国政に目を転じてみれば、相も変わらず危機感に乏しく、浮かんでは消える解散・総選挙の話題に右往左往するばかりです。

しかし、都政に停滞は許されません。日本のダイナモとなる東京を支える中小零細企業の支援や雇用創出、周産期医療の充実や新型インフルエンザ対策など、都は喫緊の課題に対して実効性のある緊急施策を広範囲に講じております。

一方、地球温暖化問題も待たなしの状況ですが、大国といわれる国々の対応は実に緩慢です。あと、五、六年のうちに徹底した対策を講じなければこの地球は取り返しがつかないところまで来ています。都では動

きの遅い国を待つことなく、都民や事業所の皆様のご理解とご協力を得ながら環境確保条例を改正し、工場やオフィスビルなど大規模な事業所へのCO2排出総量の削減義務化などの対策を進めています。今後も、太陽エネルギー利用機器や環境負荷の低い電気自動車等の普及などに意欲的に取り組んでまいります。

私は知事就任以来、東京の再生、そして東京から日本を変えるための様々な政策を国に先駆け、積極的に講じてまいりました。

都では、東京の近未来図である「十年後の東京」の実現に向けて、数々の政策を策定し、緑あふれ、美しく、安心・安全な都市へと一層の成熟を遂げる姿を描きました。現在、既に臨海部での「海の森」づくりや街路樹の倍増、先に述べたCO2排出削減対策など具体的な実践的な施策に着手しております。

引き続き本年は、昨年末に策定した「十年後の東京への実行プログラム二〇〇九」を果敢に実行し、一層、都民生活を支える幅広いテーマに全庁を挙げて取り組んでまいります。

また、東京都が開催を目指している二〇一六年オリムピック・パラリンピック招致活動もいよいよラストスパートの時期を迎えております。スポーツには社会を変え、人を変える力があります。日本の若者たちが、オリンピックという最高の舞台で、スポーツを通じて人間の多彩な可能性が開花する様を体験し、心の財産を築いてほしいと心から願っています。是非とも今年十月にコペンハーゲンで開催されるIOC総会で、東京への招致を勝ち取ってまいります。

緊急事態に対処しつつ、将来を見据えた重層的・複合的な政策を強力に展開して、この国の羅針盤ともなる確かな歩みを進めていく覚悟ですので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

ないよう

CONTENTS

平成21年 年頭所感 東京都知事 石原慎太郎

「中小企業の資金繰り支援のための国の緊急保証制度が始まっています」

- 「経営革新にチャレンジし、企業の存続を！」
- 6団体の「経済危機突破・東京大会」
- 「貸し渋り・貸し剥がし」にこぶし「第48回商工会全国大会」
- 八丈島で「平成20年度島嶼地域資源活用事業」を実施
- 大特集 多摩・島しょ地域のイベント
- 年男 抱負を語る 小平商工会 会長 神石 實
羽村市商工会 会長 向笠幸雄



『緊急保証制度』の利用方法

詳しくは商工会にご相談ください!

① 国の指定業種（698業種）に指定されていることを確認してください。

② 市町村における認定要件（下記）に合致していることを確認してください。

③ 本店（個人事業主の方は、主たる事業所）所在地の市町村役場（商工担当課）へ行き、認定申請を行い、「市町村長の認定」を受けて下さい。

④ 認定を受けましたら、ご希望の金融機関に「信用保証付の融資」をお申し込みください（※借入に必要な書類は、各金融機関で異なります）。

⑤ 同時に、信用保証協会へ「保証申し込み」をして下さい。（※個人で申請する場合と、金融機関を経由して代理申請する場合があります。）

⑥ 金融機関、信用保証協会の審査に通りましたら、融資実行です。

■市町村における認定要件

（申請に必要な書類、手続きは、市町村商工担当課でご確認ください）
・以下のいずれかの要件に合致していることの認定を受けてください。

- ①最近3か月間の平均売上高等が前年度比3%以上減少している。
- ②製品等原価のうち20%以上を占める原油又は石油製品の仕入れ価格が上昇しているにもかかわらず、製品等価格に転嫁できていない。
- ③最近3か月間の平均売上総利益率又は平均営業利益率が、前年同期と比べ、3%以上減少している。

中小企業の資金繰り支援のための 国の緊急保証制度が始まっています

二十年十月三十一日から中小企業の資金繰り支援のための緊急保証制度（名称 **原材料高騰対応等緊急保証制度**）が始まっています。

対象となる方は、原材料の高騰を受ける業種、仕入価格高騰の影響を受ける業種等六百九十八業種（中小企業の七割）が対象です。

対象業種の事業所は、金融機関から融資を受ける際に「一般保証」とは別枠で無担保で『八千万円』まで、普通担保で『二億円』まで信用保証協会の『〇〇%保証』を受けられます。注：金融機関、信用保証協会の審査の結果によっては、保証を受けられない場合があります。利用方法は左記の通りです。

不況下、困難な時代に何をなすべきか
遅れをとるな！先を行こう！
「経営革新」にチャレンジし、企業の存続を！

現在、未曾有の不況の荒波が吹き荒れています。企業存続のためには、激変する環境変化に対応し、今以上に利益を創造する必要があります。常に現状を客観的に把握し、戦略を練り、計画化、目標を管理・達成する必要があります。左記のような悩み・問題点を持つ事業者は是非、ご相談ください。

売上高が減少、収益性が悪化、競争が激化、顧客の値下げ圧力が強い、市場ニーズの変化が早い、資金繰り悪化、人材が不足などなど

チャレンジしませんか！現状を打破し、
不況を乗り切るためにわが社の
「経営革新計画」作りを始めましょう。

「経営革新」事業は、事業所の自主的な「革新計画の作成」を促し、東京都が承認し、国の融資や税制などの優遇を与えようとするものです。

①新商品の開発または生産をめざす事業所②新たなサービスの開発または提供をめざす事業所③商品の新たな生産または販売の方法の導入をめざす事業所④サービスの新たな提供方法の導入、その他新たな事業活動をめざす事業所などが対象です。

商工会は会員事業所の実態に見合う「経営革新計画」作りを支援します。（問合せ先 各商工会・商工会連合会）

当連合会など6団体の

「経済危機突破・東京大会」

会員企業562人が結集して 景気対策の早急な実施などを決議



「経済危機突破・東京大会」(演壇に立つのは意見を発表する桂会長)

当連合会、東京商工会議所、東京都中小企業団体中央会など中小企業六団体は、国並びに東京都の二十一年度予算・制度の決定を控えた二十一年十一月十二日、東京・丸の内内東商・国際会議場で五百六十二人の団体の会員企業らが結集して「経済危機突破・東京大会」を開きました。

大会では当連合会の桂教夫会長、井上裕之・東商副会長、大村功作東京都中小企業団体中央会会長、桑島俊彦・東京都商店街振興組合連合会理事長の四

団体の代表が次々と登壇。来賓の自民、民主、公明の国会・都議会の代表に直接、意見を発表。最後に①景気対策の早急な実施②中小企業の経営改善に資する支援の二つを柱とする決議を行いました。

意見発表で桂会長は多摩・島しょ地域で直近に実施した緊急金融動向調査を踏まえ「今こそ、税制、金融面をはじめ、打てる限りの手段を、政府には打つてもらわなくてはならない」と訴え、その上で中小企業の要望を実現していくための「政治力の強化策」を提案。

桂会長はこの政治力の強化について「多くの政治家の先生方は集票力の乏しい中小企業団体や商工団体に対して『選挙であてにならない』と言って軽視をしている」とし、中小企業六団体を母体とした政治的連合体を立ち上げることを呼び掛けました。

「貸し渋り・貸し剥がし」にぶっ 第48回 商工会全国大会

司会が「金融機関は貸し渋り・貸し剥がしをやめろ」と声を上げると、「やめろ！」と一緒にこぶしを上げてシュプレヒコールをしました。「商工会の力で中小企業の危機を突破しよう!」、商工会強化のため、頑張ろう!」に対しても「突破しよう!」、「頑張ろう!」と声を上げました。

市町村商工会、都道府県商工会連合会、全国商工会連合会が二十一年十一月

二十七日に東京・神南のNHKホールで全国の商工会から三千人が集まって開いた「金融・経済安定、中小企業危機突破決起大会」(第48回商工会全国大会)では貸し渋り・貸し剥がしが経営に対する大きな課題となり始める中、政府・与党並びに野党にその是正を強く迫りました。当連合会からも四十一人が



こぶしを上げてシュプレヒコール

参加、大会を盛り上げました。大会には政府から麻生太郎首相、二階俊博経済産業相、自民党から細田博之幹事長、公明党から太田昭宏代表、民主党から鳩山邦夫幹事長ら政府と政党の要人多数が出席。その中で実効性のある経済対策の早期実施など七項目について大会決議をしました。

17商工会が「出展 島と多摩の特産品が勢ぞろい!」

「東京の島・多摩 観光物産展」

昭島市のモリタウンで開催

島と多摩の特産品が勢ぞろい!。島と多摩地域の特産品を知ってもらおう、そして地域を振興していこう、と当連合会は「昭島で知る島の豊かさを感じる多摩の奥深さ」をテーマに二十一年十一月二十九、三十の両日、昭島市のモリタウン・オープンモールで「東京の島・多摩 観光物産展」を開きました。

同物産展は会場を替えて毎年、開いており、今回はJR青梅線の昭島駅を降りて直ぐで、百五十のお店が入るショッピングセンター、モリタウンのオープンモールで開催したものです。

多摩地域からは十一商工会が、島しょ地域からは六商工会の合わせて十七商工会が出展。百種類以上の特産品を揃え、「バルーンショー」や「バラエティショー」のイベントも開催して物産展を盛り上げ、販売とPRに力を入れました。

初日の二十九日は桂教夫・当連合会会長も出席してオープンングセレモニーを開催。セレモニー終了後は早速、お客に对应、試食を勧める光景、そして、特産品を買い求めていく姿があちこちで見られました。



興味深く特産品をのぞく来客者

島で八丈

平成20年度

島嶼地域資源活用事業を実施

「島の活性化と明日の島づくり」をテーマに幅広く意見交換

当連合会、八丈町商工会は二十一年一月二十一日、八丈島八丈町の八丈町保健福祉センターで「島の活性化と明日の島づくり」をテーマに「平成二十年島嶼地域資源活用事業」を実施しました。これは島内・島外事業者、島の活性化事業の協力者が島の活性化への体験や思いを発表。その上で島の活性化を担う機関の職者らが登壇、意見発表者と一緒になってコーディネートでの進行で島の活性化について幅広く意見を述べ、あり方を探ったのです。

多摩地域からも連合会職員を含めて二十一人がこの事業に参加。熱い意見交換に耳を傾けました。

意見発表では島内事業者の浅沼隆章氏が「八丈島が情け島であるために」、同、伊勢崎唯氏が「八丈島活性化案」、島外事業者の小島昌夫氏が「心のふるさと八丈島」、そして協力者の柳明菜氏が「映画を活用した島おこし」の表題で体験や島への思い、そして活性化への期待や課題を話しました。

続いて開いた意見交換会



島興しの体験や期待を交換

は「今こそ中小企業がお互いに手を繋ぎ、互いに助け合うことが地域を救い、自身自身を救うことになる」、また、浅沼孝彦・八丈町商工会会長は「島には世の中の色々なニーズにこたえるものがある。事業を通じてそれを活かす知恵を出せれば」と述べました。

では浅沼孝彦・八丈町商工会会長、沖山慶孝・八丈町副町長、中野卓・八丈支庁産業課長、佐々木高治・八丈島観光協会専務理事らが登壇。四人の発表者とともに活性化をめぐる意見交換を行いました。

この中で意見発表者、意見交換の登壇者からは「まとまることによりいまの厳しい状況を打破できる」、「エア代が高かったらサービスの方面で何とか努力をするべきだ」といった意見が出されました。同事業には来賓に浅沼道徳・八丈町町長、そして三井幾雄・東京都八丈支庁支庁長、黒田長彦・八丈島観光協会会長が出席。

主催者挨拶で桂教夫・当連合会会長

宮崎市で

第10回

商工会女性部全国大会

全国から **3100** 余人の部員が参集 **東京都からは 62** 人



「女性のパワーで地域に夢を!!」と開いた女性部全国大会

全国商工会女性部連合会、宮崎県商工会女性部連合会は「今日の出会いを明日の絆に!」女性のパワーで地域に夢を!!」を合い言葉に、二十年十月二十七、二十八の両日、宮崎市内のフェニックス・シーガイア・リゾートで「第10回商工会女性部全国大会 inみやざき」を開きました。

同大会には全国の商工会女性部連合会から部員三千余人が参集。二十七日は松村祥史・経済産業大臣政務官、東国原英夫・宮崎県知事らを来賓に迎えて大会セレモニー、主張発表大会、基調講演、表彰式、交流会を行いました。

傘下商工会女性部からの参加を含めて六十二人が参加をした東京都商工会女性部連合会は二日目に実施された、六つに分かれたの分科会には参加をしないで独自に研修を企画。熊本市内にある健康商店街の「ふるさとショップ・まちの駅」を訪ね、空き店舗を活用した、先進的な街の活性化への取り組みを学びました。

「上手な経営承継のすすめ方」などを指南

多摩地域6カ所で

「事業承継セミナー」を開く

国の地域力連携拠点事業の「東京事業承継支援センター」である当連合会は、傘下二十七商工会などとともに多摩地域六カ所で関東経済産業局の委託事業である「事業承継セミナー」を開きました。これは二十年十一月七日から十四日までの八日間に同内容のものを羽村、調布など六市ではぼ連続した形で開催したものです。セミナーでは税理士が「上手な経営承継のすすめ方」などについて紹介、説明をしました。



連続して開催した「事業承継セミナー」(羽村市産業福祉センターで)

過去最高の

219 企業

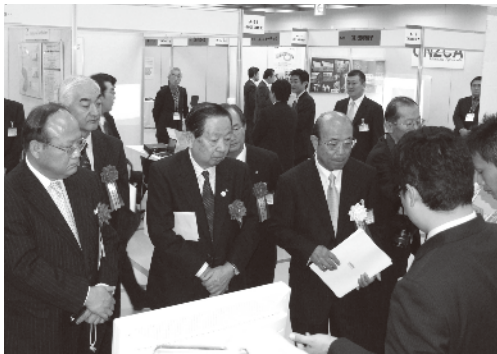
団体

大学が
出展

「第9回ビジネスフェア fromTAMA」

首都圏産業活性化協会（TAMA 産業活性化協会）と西武ニューリダーズクラブ21主催、西武信用金庫など共催、当連合会など後援の「第9回ビジネスフェア fromTAMA」が二十年十一月六日、東京・西新宿の新宿NSビルで開かれました。

「ステップ・バイ・ステップそして飛躍！」をスローガンに開催した今回は、多摩の金属加工や製品開発型の中小企業、それと相模原、三条・燕、浜松地域の企業、さらに大学と支援機関など過去最高の規模となる二百十九が出展をし、自慢の技術・製品を



来賓らが展示ブースを見学
(中央は桂会長)

紹介。新たな販路や提携先の開拓に当たりました。

当連合会は二十三校十一団体が参加をした「産学官連携コーナー」に出展、来場者からの各種経営相談に応じました。このほか、商工会からは東久留米市商工会工業部会が出展をしました。

開場に先立って行われた開会式では来賓として桂教夫・当連合会会長が出席（フエアが）年々、広がりを見せ、色々と浸透している」と挨拶をするとともに、塚本修・関東経済産業局長、山崎正芳・西武信用金庫理事長らとともにテープに鉢み入れを行いました。なお、フエアには五千五十人が来場し、一千五十七件の商談がありました。

「第4回東京商店街グランプリ」で
仙川商店街が優秀賞

地域の参加を評価

都内商店街の取り組みで特に優れた事業を表彰する、東京都産業労働局と東京都中小企業振興公社が実施している「東京商店街グランプリ」の第四回表彰のイベント部門で調布市の仙川商店街の「おらほせんがわ夏まつり」が優秀賞に輝き、二十年十一月十七日、東京・秋葉原の秋葉原ダイビルで開かれた「中小

小売商業活性化フォーラム」で表彰を受けました。

地元学生のほかに、婦人部、子供会等の地域の団体がこぞって参加をするなど地元のみで開催。五万人以上の来場者を集めていることなどが評価されました。

せんがわ夏まつりは子供向けの催事、よさこいコンテスト・盆踊り、そしてジャズダンス・チャリティーダンスなどのステージショーやサンバ・阿波踊りなどのパレードといった内容で昭和六十二年から開いています。

西東京商工会が

「地域の資源を活かした
産業発展と協働のネット
ワークづくり」をテーマに

地域経済懇談会

西東京商工会は二十年十月二十一日、市内のコール田無で「地域の資源を活かした産業発展と協働のネットワークづくり」をテーマに五回目の地域経済懇談会を開きました。

懇談会には坂口光治市長ら市内の有識者と商工会の役員・部会や委員会のトップら合わせて四十人が参集し、事例発表と意見交換を行いました。事例発表では福祉、農業、行政の分野の代表が課題や今後に向けての取り組みなどについて話しました。また、意見交換では有識者がそれぞれ手を上げて活動紹介や協力要請などを行いました。

産業交流展

2008

749 社が参加

861 小間で商談

東京都、当連合会、東京商工会議所などは二十年十一月二十五、二十六の両日、東京・有明の東京ビッグサイトで「広域的な交流と連携をコンセプトに「産業交流展2008」を開きました。

首都圏の中小企業等が技術・製品を一室に展示、受発注を拡大してもらうことなどを目的とした、この展示会は、中小企業によるものとしては国内最大級の規模となっており、十一回目の今回は七百四十九社・団体が参加。八百六十一小間で熱い商談を繰り広げました。

目玉としたのが「全国地球温暖化防止技術」、「八都府県合同商談会」、「ジエト口海外企業出展ゾーン」などです。いずれも初めて企画したものです。全国地球温暖化防止技術では全国各地の中小企業の省エネ技術等を展示しました。

初日の二十五日はアトリウム内メインステージで開会式が行われ、山口一久・都副知事らとともに桂教夫・当連合会会長がテープに鉢み入れました。



初日の開会式



新会館の完成予想図

住所 国分寺市本町3の11の12
多摩信用金庫国分寺支店4F
電話、FAXは従来通りです。

国分寺市商工会は商工会館の建て替えを始めました。会館を新しくするのは三十八年ぶりのことです。工事が順調に進めば二十二年二月には竣工する予定です。

三十八年が経過し、老朽化したことから建て替えることにしたものです。建て替えにともない事務所は二十年十二月一日から仮事務所に移転をしています。

新しい会館は地上五階建て、延べ床面積約一千三百平方メートルで、三階建て同約六百三十平方メートルの現在の会館よりは二倍を超える広さへと広がります。二階を商工会が利用し、一階には調剤薬局が、三階、四階、五階にはクリニックがそれぞれテナントとして入る予定になっています。仮事務所の移転先は左記の通りです。

38年ぶりに商工会館を建て替え
22年2月には5階建ての新会館がお目見え

大特集
feature

2月3月

多摩・島しょ地域のイベント EVENT

Part
24

春はもう隣。
梅が、桜が、チューリップが



日程	イベント名	会場	内容	主催者・問合せ先
3日(火)	大國魂神社 節分祭	大國魂神社 (府中市宮町3-1)	豆まき式(午後2時、4時、6時の3回) 行列:日本相撲協会力士、俳優、タレント、女流棋士、キャラクター、FC東京選手他	大國魂神社節分会 問合せ先:府中観光協会 042-302-2008
5日(木)	新春経済講演会	調布市グリーンホール 小ホール	「どうなる日本の政治・経済」 講師:橋本五郎(読売新聞社特別編集委員)	主催:調布市商工会 042-485-2214 後援:多摩東しんぎん協議会調布支部 協力:(社)調布青年会議所
14日(土)	第8回 黄金井名物市	新小金井西口商店会	ビジネスコンテスト2008 小金井産地ビール販売 スタンプラリー お楽しみ抽選会 あつあつ鍋プレゼント先着5百人他	第8回黄金井名物市実行委員会 042-381-8765
15日(日)	第43回 青梅マラソン	青梅総合体育館~奥多摩町川井	早春の青梅路を1万5千人が疾走します。 (注)申し込み受け付けは終了しました。	青梅マラソン大会事務局 0428-24-6311
20日(金)~21日(土)	第8回 たま工業交流展	国営昭和記念公園みどりの文化ゾーン花みどり文化センター及びゆめひろば	多摩地域最大級の中小企業総合展示会。大学、工業高等専門学校、工業高校も出展をします。会期中には経営や「ものづくり」をテーマにした基調講演(無料)もあります	たま工業交流展実行委員会 (立川商工会議所内) 042-527-2700
22日(日)	第59回全関東八王子 夢街道駅伝競走大会	甲州街道(JR八王子駅前から高尾間)を中心	歴史ある甲州街道を舞台にした一般市民駅伝大会	全関東八王子夢街道駅伝競走大会実行委員会事務局 042-620-7335 042-620-7378
21日(土)~3月31日(火)	吉野梅郷梅まつり	青梅市吉野梅郷一帯、青梅市梅の公園	紅梅・白梅合わせて2万5千本の梅が咲き誇ります。期間中、地元特産品販売、スタンプ・ハイク、俳句展示、投句などのイベントが行われます	青梅市観光協会事務局 0428-24-2481
7日(土)~8日(日)	第3回 ギャラリー・きらり市	秋留野広場 (秋川駅北口噴水広場)	アート&クラフトの手づくり品と花やスイーツを中心とした市を開催します。可愛い彩りのテントや音楽演奏もありますので、ぜひ楽しいひとときをお過ごし下さい	あきる野ゆにーくす作り所づくり委員会(あきる野商工会) 042-559-4511
27日(金)~4月12日(日)	はむら花と水のまつり 2009 (前期) さくらまつり	羽村堰周辺ほか	模擬店出店のほか、野点、足湯、さるまわし、玉川上水沿いの桜のライトアップ等を予定	羽村市観光協会 042-555-9667
下旬~4月上旬(予定)	第26回 ふっさ桜まつり	永田橋~睦橋の多摩川沿い	各種イベント、飲食販売	ふっさ桜まつり実行委員会 (福生市役所) 042-551-1511(代)
28日(土)	ひので朝市	ひのでグリーンプラザ駐車場	商業部会員等による即売会。普段、お店で販売している商品を格安にて販売。	日の出町商工会 042-597-0270
29日(日)	春うらら 桜ウォーキング	国営昭和記念公園から国立駅南口(立川・国立)	国営昭和記念公園から国立駅南口まで両市の桜の名所をつないでウォーキングを楽しみます	国立市観光まちづくり協会 042-574-1199 立川観光協会 042-527-2700

年男 抱負を語る



羽村市商工会
会長 向笠 幸雄



小平商工会
会長 神石 寛

皆で明るくまちづくり

年男と言われてもこの年齢になると不思議に何の感慨も浮かばないものである。若い時は多くの社員を抱え会社を安定させる為、ずいぶん無理をしたし、又この時期に業界の代表者にも選ばれ、経営者は我田引水タイプの人が多く組織をま

とめるのに随分、エネルギーを使ったことを思い出す。この時代に年男と言われると、言葉の響きに何か感慨と責任感が湧き出るような思いをした事を思い出す。十五年前、会長にと誘われ商工会に入ったが、組織の雰囲気は暗く、会員に元気がないのが何より気になったが、工業部長一期、副会長二期と九年間務め、会員に元気の無い訳が解ったような気がする。

まず①商工会が上部団体の計画、方針に従う事ばかりに汲々している②会員にも経済団体の活動目標や理念が理解できず自信が持てない③会員相互が本音で付

き合う事に慣れてない等々から、まず皆に他人を好きになれから初め、各部長や十三ある支部長には、自分が思いついた事は行動に移せ、会員だけでなく地域の皆さんが喜ぶ事は全部やれ、責任は自分がとると言っている。幹部の皆さんも自信を持ったとみえ、行動が積極的になり、理事会の意見も多くなり、元気が出てきたように思う。

都連関係の皆さん、今年がいい年でありますよう願っています。私からのお願いです。関係者の皆さんがもう一歩踏み出す勇気を持てば東京都商工会連合会は益々発展すると思っし、そう願っています。

プラス思考で難局を乗り切ろう

昨年八月と十月に日本の貿易収支がマイナスになり、また十月、リーマンブラザーズの破綻が加わり、アメリカ発の世界不況が広がり始めました。この文章を読まれる頃はもとと深刻な状況になっているかもしれません。

私達が未だ曾て経験したことのない不況だといわれています。これは今まで世界のスタンダードとされたアメリカ型のモデルを否定する事に繋がると思っています。

今まで大量生産、大量消費が主流とされてきましたが、その事を見直す時がきたのかも知れません。コストダウンの為にいろいろとマニュアル化されている事を昔のようにアナログ型にもどして考えても良

いのではないかと思います。

今回の不況を悲観的にとらえるのではなく、私達商工会の会員の皆様のプラスにする為日々お客様と接している皆様だからこそ、何を求めているかを感じとり、地域密着型に変更していく良いチャンスだと思えます。

貿易収支のマイナスから、日本は内需の拡大が迫られております。その内需は大量生産ではなく、消費者が求める心の通ったものづくりが必要になっていくと思えます。

是非、この不況をマイナス思考とせず、中小零細企業の新たな出発の時と考え、皆様で乗りきろうではありませんか。

2月20、21日に

第8回 たま工業交流展

国営昭和記念公園 みどりの文化ゾーンで

多摩地域の中小企業の技術や製品を一堂に展示し、交流を通じて多摩地域工業の振興をはかっていくことを目指す、たま工業交流展実行委員会による「たま工業交流展」の今年の開催概要が決まりました。

それによると、八回目を迎えた今回は「技術が結ぶ企業と人 新たなビジネスチャンス求めて」をキャッチフレーズに二月二十日と二十一日の両日、立川市内の国営昭和記念公園みどりの文化ゾーン花みどり文化センター及びゆめひろばで開催をします。出展をするのは百三十七の企業・団体・学校です。

内容としては機械・金属・電気機器情報関連・ソフト開発、環境関連、その他製造業、学校関連・協力団体などが展示される予定です。

二十日には「逆境を切り拓く経営」、「ものづくりの知恵、匠の技」をテーマとした基調講演（無料）もあります。開会時間は両日とも午前十時から午後四時。昨年は一万人の方が入場をされました。

是非、ご来場下さい。